

会 議 録

1 会議名

第6回上越市総合計画審議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 第7次総合計画（案）について（公開）

3 開催日時

令和4年9月29日（木）午前10時00分から12時00分まで

4 開催場所

上越市役所第一庁舎4階 401会議室

5 傍聴人の数

5人

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・委員：大谷和弘、古川政繁、大久保明子、小泉美佐子、林泰成、山縣耕太郎、市川克巳、柴野嘉紀、堀尚紀、阿部利夫、井澤翼、中條美奈子、羽深真一、三浦元二、金子彰、飯塚多佳志、大山賢一、関原英里子、青木ユキ子、打田亮介、江村奈緒美、徳道茂、山崎活美
- ・事務局：池田企画政策部長、大島企画政策課長、志賀参事、内山副課長、海津係長、新保主任、丸山主任、伊倉主任、上石主事

8 発言の内容（要旨）

(1) 開会

会長あいさつ

【林泰成会長】

本日はご多用の中ご出席を賜り、感謝申し上げます。

第6回となる本日の審議では、8月に開催された「まちづくり学生ワークショップ」の実施報告、前回第5回会議や会議後に事務局へお寄せいただいた委員からのご意見・ご質問等への対応について、事務局から報告があると聞いている。

その後、これまでの間、議論を重ねてきた第7次総合計画（案）について、今回、

改めて全容が示されたことから、その内容をご審議いただく。

今後は、本日の審議をもって審議会としての中間答申案をとりまとめ、その内容で10月1日から1か月間のパブリックコメントを実施することとなる。

いよいよ佳境に向け、専門的な視点や日々のご経験から忌憚のないご意見をいただきたい。

(2) 報告

【事務局（海津係長）】

まちづくり学生ワークショップの実施報告書について及び総合計画審議会における意見等の対応について、参考資料1及び資料1により説明。

(3) 議事

ア 議題(1) 第7次総合計画（案）について

【事務局（海津係長）】

議題(1)について、資料2により説明。

【江村奈緒美委員】

基本理念を記載しているページでは、Well-beingの用語説明が目立ってしまっている。基本理念そのものをもっと目立たせた方がよいのではないか。

【大山賢一委員】

同様に感じた。用語集を別で作成するのであれば、そこで記載してもよいのではないか。

【事務局（大島課長）】

Well-being自体は、基本理念を検討する上で重要な考え方であり、事務局としてこだわってしまった部分がある。見せ方は今後検討したい。

【林泰成会長】

文章を読んでいくと、Well-beingの言葉にやや唐突感があるが、国際的にも重要な概念として取り上げられている言葉でもあることから、上手く説明する方法を検討してほしい。

【飯塚多佳志委員】

土地利用構想において、生活拠点が有する機能が挙げられているが、こうした機能は今後縮小していくことが見込まれる。一方、他自治体では、移動式のスーパーや行政の出張窓口などでこうした機能を代替していることがあることから、「最寄品

を購入する店」のように、実店舗に限らない表現を検討してもよいのではないか。

【事務局（大島課長）】

指摘があった部分は、地域の拠点性を示す機能の例示として記載をしているものである。意見に対する対応については事務局で改めて検討する。

【大谷和弘副会長】

成果指標について、「以上」「以下」や「下回らない」などの表現が混在しているが、統一した方がよいのではないか。

また、84 ページの施策「4-2-1 観光振興の強化」の目標に経済効果の創出に関する記載があるが、該当する成果指標がない。

【羽深真一委員】

成果指標を設定した根拠を説明する必要があるのではないか。

【堀尚紀委員】

羽深委員と同じ感想を抱いた。現状では成果指標の目標値の読み方が分からない。一つ一つの根拠を説明すると長くなるため、冒頭に全体的な目標設定の基本的な考え方を示してはどうか。

【事務局（大島課長）】

観光の入込数など、コロナ禍等の影響もあり、現在のトレンドがつかみづらい項目があることから、統一した基準を示すことは難しいと考えている。ただし、根拠を分かりやすく明示することは必要と考えていることから、改めて検討する。

【打田亮介委員】

86 ページの施策「4-2-2 シティプロモーションの推進」に「インスタグラムにおける「#上越」をつけた投稿数」という成果指標があるが、令和 12 年にはインスタグラムを使う人がいなくなっていることも考えられることから、指標として不要ではないか。

【事務局（大島課長）】

シティプロモーションに関する成果指標だが、当該施策は今回の計画で新たに追加した部分でもあり、頭を悩ませているところでもある。より効果的なものがないか検討したい。

【事務局（海津係長）】

当該指標は第 2 期まち・ひと・しごと総合戦略において用いられている指標であ

り、そちらとの整合を図ったものである。

【徳道茂委員】

他の委員と同様に、数値の根拠が必要と考えている。

82 ページの施策「4-1-4 雇用機会の拡大と就労支援」の成果指標に「ハッピーパートナー登録企業数」があるが、市内の事業所数が不明であり、設定した数値が妥当かどうか判断できない。

また、80 ページの施策「4-1-3 新産業・ビジネス機会の創出」の成果指標に「IT 企業等の新規立地企業数」があり、R12 年の目標値を 17 社としているが、現状では上越市に縁がある企業が進出している。このような状況において、住まいをセットにしてPR するなどの方策が必要ではないか。

【関原英里子委員】

事業者に関する成果指標がいくつかあるが、今後、中小企業の減少が見込まれることから、件数ではなく割合を数値にする方がよいのではないか。

【三浦元二委員】

70 ページの施策「3-2-1 コミュニティの充実」の成果指標に「自主的審議事項のテーマを定めて取り組んでいる地域協議会の数」があるが、自主的審議事項は地域協議会が自発的に審議を行うものであり、目標として市が推進していくことは、制度の主旨と異なるのではないか。

【事務局（大島課長）】

いただいた意見は、関係部局と相談して検討したい。

数値の根拠を記載することについて、基本計画部分は紙面が限られており、難しいことから、資料編に記載することを検討したい。

【江村奈緒美委員】

64 ページの施策「3-1-1 人権・多様性の尊重」のありたい姿に「門地」という文言があるが、6 次総では「出身」という表現だった。「門地」の方がふさわしい理由があればそのままでよいが、「出身」の方がわかりやすいのではないか。

また、この施策の内容に、子どもの人権に関する内容を記載してほしい。

このほか、6 次総にあった指標が削除されているものがあるが、いじめや配偶者からの暴力、女性の役員や審議会委員の割合などは引き続き指標として入れてほしい。いじめの関係の記載については、人権の分野に適さないということであれば、子育て

支援に含んでもよいのではないか。

【青木ユキ子委員】

62 ページの施策の柱「(4) 環境学習と保全活動の推進」に「担い手の輪を拡大し」とあるが、他力本願のように見える。人材や団体を「育成」という言葉を入れていく必要があるのではないか。

【山縣耕太郎委員】

ごみに関する記載が、52 ページの施策「2-2-3 快適な生活環境の保全」と、62 ページの施策「2-4-2 地球環境への負荷が少ない社会の形成」の2か所にあり、一部重複している。ごみの関係は「快適な生活環境の保全」に集約し、「地球環境への負荷が少ない社会の形成」では、重点テーマでもある脱炭素に関する成果指標を、家庭部門と業務部門で分けるなど、より細かく設定してはどうか。

また、「快適な生活環境の保全」の成果指標については、ごみが適正に処理されることが重要であるため、再資源化率や最終処分量（率）などを成果指標とする方がよいのではないか。

このほか、環境分野に関する重要な課題として鳥獣被害があり、関連する指標としては農業分野に猟友会の新規入会者数が掲げられているが、鳥獣被害額を設定する方がよいのではないか。

【事務局（大島課長）】

青木委員の指摘については、活動人口の増加は重点テーマに設定しており、「育成」という言葉を記載する方向で検討したい。

また、山縣委員の指摘については、関係課と議論し、数値として把握できるかを含めて検討したい。

【堀尚紀委員】

成果指標として、数値の向上により市民の生活がどう変わるか示すのも重要ではないか。例えば、44 ページの施策「2-1-2 災害に強い都市構造の構築」の成果指標に「下水道（雨水幹線）の整備率」があるが、この数値が増加することにより、洪水時の浸水エリアがこれだけ減るといったことを示せないか。

【林泰成会長】

いわゆるアウトカム目標を示せると市民にとってもわかりやすいと思われる。

【関原英里子委員】

76 ページの施策「4-1-1 地域に根付く産業の活性化」の成果指標に「倒産・廃業件数」があるが、成果指標としては馴染まないことから、削除してほしい。

【飯塚多佳志委員】

市民の声アンケートの結果を成果指標にしているものがあるが、アンケートは回答者数が重要になることから、今の段階から4年後に実施するアンケートの取り方を工夫・検討してはどうか。

76 ページの施策「4-1-1 地域に根付く産業の活性化」の成果指標に「製造品出荷額等」があるが、外的要因で数値が増減することから、単に目標値の達成状況だけでなく、なぜ増加したかの分析を別途行う必要があると考える。

【事務局（大島課長）】

堀委員の提案については、紙面のスペースの都合等から、個別計画の中で詳細な説明を書き込んでいくのが妥当ではないかと考えている。

飯塚委員の意見については、市民の声アンケートは人口規模からすると、十分な数が確保できており、引き続き、多くの回答が得られるよう工夫していく。

【事務局（池田部長）】

成果指標の設定にあたっては、極力アウトプットは避けるように検討している。外的要因によって左右されるものの中には存在するが、それを飲み込みながら評価するしかないと考えている。市民の声アンケートの精度は比較的高いものではあるが、アンケート結果を指標とするものについては、標準誤差も踏まえた目標設定にしていきたい。

成果指標については、本日いただいた意見も踏まえながら、一定の考え方に基づいて整理をしていきたい。

【江村奈緒美委員】

農業分野について、現在は法人化を推奨する国の方策等もあるが、個人で農業に携わっているような人たちが評価される成果指標があるとよい。

【山縣耕太郎委員】

47 ページの施策の柱「(1) 防災意識の向上」があるが、対応する成果指標がない。本来は防災意識を捉えられるような調査やアンケートがあればよいが、難しければ防災教育やイベントの回数などを設定することも考えられる。

また、42 ページの施策「2-1-1 大規模災害への対応力の強化」の成果指標に「原子

力災害時の避難行動の認知度」があるが、どのように測っているのか。

【事務局（新保主任）】

UPZ内の住民へ県が実施しているアンケートに市独自の項目を追加し、そこで得られた回答を用いている。

【徳道茂委員】

76 ページの施策「4-1-1 地域に根付く産業の活性化」の成果指標に「DX認定企業」があるが、これは何を指しているか。

【事務局（伊倉主任）】

経済産業省のDX認定制度の認定を受けた企業の数を示している。

【関原英里子委員】

災害の関連では、BCP（事業継続計画）の作成が企業に求められており、こうしたことを指標として設定してもよいのではないか。

【小泉美佐子委員】

94 ページの施策「5-1-1 切れ目のない子育て支援」の成果指標に「児童虐待に関する支援を要しなくなった世帯数」があるが、通報等があった件数のうち、解決した件数を指しているのであれば、件数ではなく割合の方がよいのではないか。

【大久保明子委員】

38 ページの施策「1-2-2 障害者福祉の促進」の成果指標について、障害者に関する指標が就労に関するもののみとなっており、福祉サービスの充実に関する指標がない。

子育て支援に関連して、育児ストレスは配偶者の協力に左右される面が大きいことから、男性の育休取得率などを文章や成果指標に追加してはどうか。

【大山賢一委員】

項目立てについて、施策の柱の下のスペースが空いているので、成果指標の根拠などはこのようなスペースに記載してはどうか。

【江村奈緒美委員】

男性の育休については前回の審議会で中條委員から意見があり、本日の資料では対応したとなっているが、どこを修正したのか。

【事務局（新保主任）】

67 ページの施策の柱「(2) 女性活躍・女性参画の促進」に、ワーク・ライフ・バ

ランスの促進に関する記載を追加した。育休取得については、一人親世帯などもあり、男性に限る必要はないと判断したことから、「性別に捉われず」と表現している。

【江村奈緒美委員】

特記することが必要として前回意見があったものと考えている。

【事務局（大島課長）】

ここまで、様々な意見をいただいているが、引き続き検討を行っていく。結果として現行のままとするものもあるかと思うが、容赦願いたい。

大山委員から提案のあった施策の柱の下のスペースについては、関連する写真やグラフなどを挿入する予定であり、先ほども申し上げた通り、資料編などで説明を加えたい。

【井澤翼委員】

今回出た意見は、序論がなく、背景がわからないことで出てきた面もあるのではないか。序論についてもできるだけ早く確認させていただきたい。

【山縣耕太郎委員】

成果指標について、現状値の出所をどこかに明記すべきと考える。

【事務局（池田部長）】

成果指標の出所や意図は一覧化するような形でとりまとめていきたい。

【林泰成会長】

今回の審議会で出た意見のうち、継続検討するものを除いて事務局で修正後、私の確認をもって、審議会としての中間答申とさせていただきたい。次回の審議会はパブリックコメントを受け、計画案全体を改めて審議することとなる。次回が最後の審議会となるが、よろしく願いたい。

(4) 閉会

企画政策部長挨拶

【池田企画政策部長】

貴重な時間をいただきながら、大変重要な議論をしていただいた。施策の内容や指標の考え方について、我々の気付かない点を指摘していただいたと考えており、その内容をしっかりと受け止め、改善に向けて努力していきたい。今日の会議の中で指摘できなかった部分については、追って意見をいただければありがたい。

今後、市民説明会やパブリックコメント、議会との議論を経て、12月議会へ上程し、議決を受けたいと考えている。ひとまず中間答申までたどり着いたものの、もう少しお付き合いいただき、皆さんの知見をお借りできれば非常にありがたいと考えている。

(5) その他

【事務局（内山副課長）】

次回開催日程等の事務連絡。

9 問合せ先

企画政策部企画政策課企画調整係

TEL：025-520-5625

E-mail：kikaku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。